

入力並び (input list) は、入力したデータを格納する場所を示し、出力並び (output list) は、出力するデータの格納されている場所を示すものである。

8-6 入出力機番の与え方

入出力装置には番号が与えられている。この番号により、どの装置であるかが区別される。

このうち、5, 6については、普通はつぎのような装置である。

5 : カード読取装置

6 : 高速度印刷装置

上記以外の番号は、単に入出力装置の区別をするために用いる番号であり、仮の番号を与えておけばよく、実行時に実際の装置が何であるかを決めればよい。装置としては、紙テープ読取装置、紙テープせん孔装置、カード読取装置、高速度印刷装置、磁気テープ装置、磁気ドラム、磁気ディスク装置、X Yプロッタ装置、コンソールタイプライター装置などを割当てることができる。

9 補助入出力文

<p>9-1 REWIND文 (REWIND statement)</p>	<p>一般形 REWIND i</p> <p>ここに、iは装置番号を示し、符号のない整数か整数で与える。 補助記憶として使用される磁気テープ、磁気ドラム、磁気ディスク装置の 始点にあわせるための文がREWIND文である。</p>
<p>9-2 BACKSPACE文 (BACKSPACE statement)</p>	<p>一般形 BACKSPACE i</p> <p>ここに、iは装置番号を示し、符号のない整数か整数である。 この文は補助記憶装置上に書かれている記録の1つ前の記録まで戻す働き をする。書式つきWRITE文で出力された記録によって作られた順編成フ ァイルに対して、BACKSPACE文を実行してはならない。</p>
<p>9-3 ENDFILE文 (ENDFILE statement)</p>	<p>一般形 ENDFILE i</p> <p>ここに、iは装置の番号を示し、符号のない整数か整数である。 この文は装置上に特別なしるしを書きこむためのものであり、このしるし をファイル終了記録 (endfile record) とよんでいる。これは記録のあ つまりの終了を示すものである。</p>